

## コロナ禍における入寮のお勧め

大学生活のための部屋をお探しの皆様、公益財団法人「春風学寮」への入寮を検討されてはいかがでしょうか。「春風学寮」は単なる下宿ではなく、学生を心身両面からケアする、家庭的な学生寮です。どこの大学の学生でも入寮することができ、現在、東京農大、日大、國學院大、東大、国士舘大、筑波大などの学生が共に生活しております。

「春風学寮」のモットーは、キリスト教の「愛と信頼」です。寮全体はこのモットーのもとに運営され、学生たちが自主的な学びにより、「愛と信頼」を重んじる人間へと成長していくことを目指しています。先年創立90周年を迎え、今までに250人以上の有為な人材を社会に送り出してきました。この学生寮で暮らすならば、精神的に成長し、多くの友人を作ることができるだけでなく、世代を超えた幅広い交友関係を築くことができるでしょう。

### 《日常生活での利点》

①質の良い食事（90年の歴史によって生み出されたメニューに基づいて、おいしくて栄養のバランスの取れた食事をとることができる。）

②家具や設備の充実（各部屋には本棚、机、ベッド、収納が備えられており、共有スペースにはキッチン・洗濯機・乾燥機・冷蔵庫・食堂・ホール・娯楽室などが完備されているので安価に快適な生活を送ること

ができる。）

③便利で静かな環境（小田急線経堂駅から徒歩8分。農大通りという便利な商店街が近くにありながら、閑静な住宅街にある。20分ほど歩けば、馬事公苑や砧公園といった大きな公園にも行くことができる。）

④公益財団法人ならではの低価格（月々のお支払いは、部屋代35000円+食費28000円+共益費2000円=計65000円。）

### 《コロナ禍での利点》

しかし、春風学寮を今お勧めする最大の理由は、**コロナ禍での暮らしのハンディを大幅に軽減できる**ということです。以下、その具体例をいくつか挙げさせていただきます。

- ・30畳ほどのホールがあるので、筋トレや卓球などができ、**運動不足を解消**できる。また、楽器の演奏や室内ゲームもでき、**精神的ストレスが発散**できる。
- ・大学で難しくなっている活動を補うことができる。例えば、**交友関係を築いたり、読書会**を持ったり、**小さなイベント**（クリスマス会や誕生会など）を開催したり・・・。
- ・大学生活でわからないことを先輩に相談できる。特に**オンライン授業などの手続きの仕方、受け方、注意点などを教えてもらう**ことができる。
- ・話し相手が多くいるので、**孤独に陥るのを防ぐ**ことができる。
- ・緊急事態宣言下では、特別に食事の回数を増やす

ので、**外食を減らす**ことができる。また自炊生活で陥りがちな**食生活の偏りを防ぐ**ことができる。これら以外にも小さな利点はたくさんあります。学生寮である以上、クラスター発生の危険性があることは確かですが、住み込みの寮長夫妻によってきちんと管理がなされている（体温測定、手洗いマスクの徹底、集合時のソーシャルディスタンス維持や換気の徹底、外食の禁止などを実施している）ため、コロナ感染者が出る可能性はむしろ低いといえましょう。事実、**これまでに感染者は一人も出ていません**。

というわけで、春風学寮はコロナ禍で不利益を被る学生を様々な方法でサポートすることができます。ぜひ入寮をご検討ください。

2022年2月

寮長 小舘 美彦（拓殖大学特任講師）  
理事長 千葉 眞（国際基督教大学名誉教授）